

# 千葉大学教育学部附属中学校は こんな学校です！ (2024)

**自己理解**

**自己決定**

**自己実現**

自己理解の上に、自らの行動を自己決定し、  
自己実現しうる主体的な生徒の育成

◎教師も自由度が高く、創意工夫ができる環境  
◎生徒により多くを委ねる主体性重視の教育観

## (1) 授業に力を入れています！

- ・ 日頃の授業から工夫をして、生徒がワクワクするような授業を目指します。
- ・ 実習生や来校者などがたくさん参観に訪れます。

## (2) 実践研究を発信します！

- ・ 全校の研究テーマ（個別最適な学び）について実践し、公開研究会などで研究成果を発信します。
- ・ ICT部会は実践交流会も開催します。

## (3) 教師の卵を育てます！

- ・ 千葉大学教育学部の学生の多数が、実習を行います。
- ・ 大学3年生のコア実習だけでなく、各学年にも授業研究の場を提供します。

## (4) 主体的な生徒を育てます！

- ・ 学校教育目標「自己理解・自己決定・自己実現」は生徒にも浸透しています。
- ・ 服装や時間、スケジュール管理、ICT利用など、多くを生徒に委ね主体性を育みます。



マスコット  
キャラクター  
「フチュレオ」



## ◎附属中の教員の声

- ・ はじめは戸惑いも多かったですが、授業を工夫するうちに、少しずつ授業力が身についてきたことが自信につながりました。
- ・ これまでの教育観を見直すきっかけとなり、自身の教育観が広がったように感じます。

## ◎働き方改革も推進中

- ・ 部活動は平日3日間、夏でも16:45まで。長期休業中も1/3程度の実施。
- ・ 校務のICT化を推進し、報告・連絡・相談がスムーズに進む環境を整備。
- ・ 会議や授業プリントなどのペーパーレス化を推進し、準備時間を短縮。
- ・ 会議の多くは、時間割の中に位置付けるため、勤務時間内に実施。
- ・ 校舎外の環境は大学雇用のスタッフが定期的に整備。
- ・ 集金業務は後援会雇用の事務員が担当。